

本邦における転移性脳腫瘍の治療成績の検証

-多施設共同研究によるデータベース作成の試み-

(1) 研究の意義・目的

これまでの転移性脳腫瘍の診断・治療は癌腫によらず、「転移性脳腫瘍」と一括されて行われてきました。様々ながんの治療成績が改善され、癌腫にあった分子標的薬が使われるようになった今日、転移性脳腫瘍も、癌腫による治療方針を考えることで治療成績が改善する可能性があります。本研究は、転移性脳腫瘍の患者様の臨床・病理・画像情報などを集積し、癌腫別の転移性脳腫瘍に対する有力な治療方法の検討や予後因子を明らかにすることを目的とします。多施設共同で行うことにより、稀少がん例も統計解析可能な症例数が集積できるものと期待しています。

(2) 対象

2000年以降に転移性脳腫瘍として各施設で診断・治療を行った患者様を対象とします。新たに治療を開始する症例も適宜登録を行うこととします。

(3) 方法

転移性脳腫瘍に対して診断・治療（緩和ケアを含む）を行った診療記録や病理、画像情報などを収集してデータベースを作成して、治療成績や予後因子を検討します。

(4) 予測される結果(利益・不利益)について

診療後の記録から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。

(5) 個人情報に対する配慮

「疫学研究に関する倫理指針」に従い、倫理面に充分配慮して研究を進めます。研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

(7) 費用について

謝礼などはお渡ししておりません。

(8) 問い合わせ等の連絡先

日本赤十字社医療センター 脳神経外科 田部井 勇助

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話：03-3400-1311